

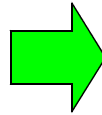
ほうれんそうができるまで

1 種まき～芽がでるまで

ほうれんそうはビニールハウスの中で作られています。留萌管内では、本州がほうれんそうを作れない夏～秋にかけて作られます。夏のあつい時期は、ビニールハウスの土が乾きやすいため、土に種をまく前に水を十分まきます。



水をチューブを使って
土に水を十分まきます

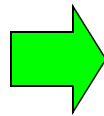


水をまいてから2～3日たつと
土の表面が少しかわいてきます

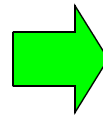
土が乾いてきたら畑をおこして、種をまきます。



ほうれんそうの種です



種をまくキカイを使って
種まきをしていきます



種をまいてから3～5日
で芽が出てきます

真夏は、ビニールハウスの天井のように光をさえぎるシートをかけて、ビニールハウスの中や土があつくならないようにして、芽を出させます。

2 芽が出て～大きくなるまで

夏のあつい時期は、本葉が出てくる前に水をかけてしまうと、ほうれんそうがびょうきでかれてしまうことがあります。このため、びょうきにならないよう本葉が2枚になったころから水をかけて育てていきます。



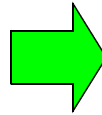
種をまいてから14日目
くらいのほうれんそう

種をまいてから20日目くらいになると、本葉が10枚くらい出てきて、ほうれんそうの大きさも20cmくらいになります。

ほうれんそうを畑からとる時に土の水分が多いと、葉がおれてキズがついてしまうため、このくらいの時期から畑に水をまくのをやめて育てます。



種まきから16日目くらい
本葉の5枚目、6枚目が
出てきています。



種まきから25日目くらい
本葉が12枚出ています。
あと数日でとり始めます。

3 畑からとってから～お店にならぶまで

ほうれんそうは25cmくらいになると畑からとっていきます。種をまいてから畑でとれるようになるまで、あつい夏は27～28日、すずしくなる秋は32～35日くらいかかります。

畑からとってきたほうれんそうは、農家が手作業でふくろに入れ、お店にもっていくはこに入れていきます。はこに入ったほうれんそうは、いちどレイゾウコでひやしてから市場に出され、市場からほうれんそうを売るお店が買って、ほうれんそうがお店にならびます。



手作業でほうれんそうを畑
からとっていきます



大きさをそろえて、ふくろに
入れます



ふくろに入れたほうれんそうを
はこに入れ、レイゾウコでひや
してから、市場に出します。

お店にならんだおいしい「ほうれんそう」をみんなで食べよう！